

## 平成28年度第4回番組審議委員会議事録

1 開催年月日 平成28年11月11日（金）

2 開催場所 CTY 本社3階会議室

### 3 委員の出席

① 委員総数 10名

② 出席委員数 6名

③ 出席委員 小林慶太郎（四日市大学 教授）  
吉水英人（（公財）四日市市文化まちづくり財団 副館長）

三輪栄子（元四日市市消防団 サルビア分団 分団長）

服部洋明（メガネの隆明堂 店主）

出口 功（菰野町スポーツ・文化振興会 事務局長）

山中奨太（四日市大学 環境情報学部 学生）

④ 欠席委員 堀内あかね（菰野町観光協会）

藤井博光（ライブハウス フルハウス 元店主）

笹岡邦清（暁石齋株式会社 取締役）

原真由美（民生委員）

④ 放送事業者側出席者氏名 舘 克俊（放送制作部部長）

山本浩之（放送制作部課長）

### 4 議題

審議番組	番組名	とまらじ～魔法少女トマトちゃんRADIO～ （ボラ倶楽部提供）
	放送日	平成28年10月26日（水） 11月 2日（水）再放送
	放送時間	22：00～22：59の59分間（収録番組）

### 5 審議概要

エフエムよっかいち番組審議委員会 小林慶太郎委員長の挨拶に続き、弊社放送制作部部長 舘克俊より、10月下旬に施行された菰野町議会議員選挙の開票速報番組を放送した旨をご報告。また菰野町町制60周年に因み、11月下旬に記念式典が開催されるので、その模様を収録し特別番組として、12月初頭に放送予定であることをお知らせしました。その後、審議番組の視聴・合評が行われました。

## 7 審議内容

委員長：番組視聴の前に番組概要の説明をお願いします。

会社：三重県桑名郡木曾岬町の非公認キャラクターの魔法少女トマトちゃんが、メインパーソナリティとなりお送りする番組です。クールジャパンの象徴としてのアニメは今や世界に通用する日本のサブカルチャーとして十分に市民権を得ています。そのアニメ萌キャラクターの魔法少女トマトちゃんがラジオを通して、地元木曾岬町のPRと活性化を目指すというのが番組のコンセプトになっています。

番組聴取	番組名	とまらじ～魔法少女トマトちゃんRADIO～ (ボラ倶楽部提供)
	放送日	平成28年10月26日(水) 11月2日(水)再放送
	放送時間	22:00～22:59の59分間(収録番組)

委員長：みなさんのご意見ををお願いします。

委員：一言で言うと年配の方々にはちょっと理解しにくい番組ですね。

委員：アニメやキャラクターに興味、関心がある人達にはおもしろい番組なのでしょうね。残念ながら私はそのいずれも興味がないので、この番組のおもしろさが今ひとつわかりません。

委員：ストーリー仕立てに構成された番組、豊富な効果音など、とても作り込んでいると感じました。

委員：こういうジャンルの番組のリスナー層はどういう方々なのでしょう

委員：水曜日の夜22:00放送という時間設定は、対象となるリスナー層にきちんとヒットしているのですか。

委員：木曾岬町の非公認キャラクターということですが、公認キャラクターというのも存在するのですか。このまま公認キャラクターとなっても全く遜色ない感じがします。

委員：番組に対してのリスナーからのレスポンスはあるのでしょうか。また、あるのとしたらどのくらいの反響なのでしょう。

委員：木曾岬町のキャラクターということですが、木曾岬町にはコミュニティFMラジオ局はないのですか。わざわざ、四日市中心のコミュニティFMラジオ局で番組を放送するのはなぜかと疑問に感じたので。

委員：エフエムよっかいちのエリア外である木曾岬町のキャラクターがラジオで出演するのは、スマホのアプリやサイマルラジオを活用して、町外へ向けての情報発信を視野に入れてのことなのですね。

委員：私は年齢のせいか聞いていてなかなか頭の中にビジュアルがイメージ

できません。

委員：この番組はエフエムよっかいちでしか聴けないのですよね。

委員：エフエムよっかいちでしか聞けことが出来ない番組であれば、それはそれで局の強みではないでしょうか。良い意味でオンリーワンです。

委員：キャラクターの設定なので強くは言えないのかも知れませんが、言葉の最初や最後に“とまっ！”がつくのは聴いていて少しうるさく感じました。

委員：他の登場キャラクターとの会話の内容がいまいちよくわかりません。

委員：演出効果もあるとは思いますが、会話の中で“ピーッ！”の効果音は必要でしょうか。

委員：この番組の制作者もこういうジャンルのサブカルチャー好きの方なのではないでしょうか。

委員：台本仕立てもよいのですが、フリートークの番組もラジオらしくて良いと思います。いずれは聞いてみたい気がします。

委員：現代は趣味も多様化していて、それぞれがそこそこに市民権を得ている時代です。番組のコンテンツも万人受けというものばかりではなく、こういう個性的なものがあったとしても良いと思います。

委員長：ご意見にもあったように全ての方々に受け入れてもらえる番組というものではないかも知れませんが、しかし、ニッチなジャンルのコンテンツを持っているということは、ある意味そのラジオ局の個性、ひいては、ここにしかない、ここでしか聴けないという強みにもなり得ます。ただ、ひとりよがりの自己満足番組にだけはならないよう、制作者側も局側も十分に気をつけなければなりません。まだまだ検討の余地がたくさんあると思います。スポンサー番組なのでなかなか意見しづらいところもあると思いますが、聴取者にとって有益な情報を提供するという番組のスタンスは決して忘れないで欲しいと思います。今後の番組の広がりに期待します。

会社：貴重なご意見をたくさんありがとうございました。まだまだご意見があろうかとは思いますが、また、ご意見やご感想などがございましたらその都度、ご教授いただきたく存じます。今日は1時間半にわたり議論を頂き、ありがとうございました。

次回開催日 平成29年1月20日（金）17：30～（予定）

## 8 審議会の答申などに対してとった処置

## 9 記事の公示

エフエムよっかいちホームページにて公示